科目番号 M3701	授業科目名： 表現文化学研究Ⅰ	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 前水 2	英文名： Higher Studies in Culture and Representation Ⅰ	担当教員名： 小田中 章浩 教授		

●科目の主題

文学に表象された洗脳＝マインドコントロールに関する研究

●到達目標

与えられた研究テーマに関するリサーチならびに報告、ディスカッションを行うことにより、表現文化学的な研究の手法を身につけること。

●授業内容・授業計画

David Seed, *Brainwashing: The Fictions of Mind Control*, 2004, The Kent Sate University Press を読みながら、そこで言及されている作品について受講者に報告してもらい、ディスカッションを行うことによって科目の主題に関する理解を深める。

●評価方法

受講生は、毎回指定された担当箇所を訳すだけでなく、必要に応じて関連した事項についてリサーチを行い、報告することが求められる。評価は、毎回の授業において、各自が与えられた課題を確実に達成したかどうかに基づいて行う。

●受講生へのコメント

無し。

●参考文献・教材

上記の文献は、当初は必要箇所をプリントで配布する。

科目番号 M3702	授業科目名： 表現文化学研究演習 1	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 後水 2	英文名： Higher Studies and Seminar in Culture and Representation 1	担当教員名： 小田中 章浩 教授		

●科目の主題

文化的な表象における記憶と想起の問題

●到達目標

受講生が、自らの専門分野に応じて、与えられた問題系を自らの問題へと再設定し、研究を展開する能力を身につけること。

●授業内容・授業計画

小説、映画、絵画、パフォーミング・アーツなど、さまざまな文化的表象において記憶と想起の問題はどのように扱われているか。受講者の各自の研究分野に即して報告してもらい、ディスカッションによってこの問題に関する理解を深める。

●評価方法

評価は授業におけるリサーチの達成度、発表の成果に基づいて行う。

●受講生へのコメント

受講生の専門分野に考慮して、リサーチの対象については柔軟に対処する。

●参考文献・教材

必要に応じてプリントを配布し、リサーチすべき資料を提示する。

科目番号 M3703	授業科目名： 表現文化学研究Ⅱ	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 後月 4	英文名： Higher Studies in Culture and Representation Ⅱ	担当教員名： 野末 紀之 教授		

●科目の主題
ミシェル･フーコー『性の歴史』第 1 巻とその関連文献を読む。
●到達目標
(ホモ)セクシュアリティ言説にかんする画期的著作を精読することで、さまざまな性的表象にまつわる重要な問題群を考察する。
●授業内容・授業計画
上記英訳テキスト(*The History of Sexuality*, vol.1)を演習形式で読みすすめる。また、そこで批判されるスティーヴン･マークスの『もう一つのヴィクトリア時代』(*The Other Victorians*)を適宜とりあげる。
●評価方法
出席、発表、授業への参加度、レポートを総合的に判断する。
●受講生へのコメント
十分な予習が必要。
●参考文献・教材
プリント配布。参考文献は授業中に指示する。

科目番号 M3704	授業科目名： 表現文化学研究演習 2	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 前月 4	英文名： Higher Studies and Seminar in Culture and Representation 2	担当教員名： 野末 紀之 教授		

●科目の主題
20 世紀初頭に Edith Wharton によって書かれた男性同性愛をめぐる傑作短篇”The Eyes”を精読する。
●到達目標
テキストを精読しながら、屈折した表現のあり方、女に見つめられることの恐怖、「父」たることの拒否など、現代のさまざまな作品を分析するさいに有効な視点を身につける。他の作品との照応対比にも着目する。
●授業内容・授業計画
テキストを演習形式で読みすすめる。適宜、サブテキストを使用する。
●評価方法
出席、発表、授業への参加度、試験を総合的に判断する。
●受講生へのコメント
徹底した予習が必要。
●参考文献・教材
プリント配布。参考文献は授業中に指示する。

科目番号 M3705	授業科目名： 表現文化学研究Ⅲ	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 前木 4	英文名： Higher Studies in Culture and Representation Ⅲ	担当教員名： 三上 雅子 教授		

●科目の主題
performance という語は現代では、身体による演技・演劇的行為のみならずさまざまな文化現象や日常的行動を評するときに使用される。本授業では、狭義の意味の performance を取り扱うのみならず、こんにち我々をとりまく文化的・社会的現象を performance として捉えその演技性に着目して考察していく。
●到達目標
特定の芸術作品・文化的営為を、社会的・歴史的観点から複合的に分析・研究する方法論の習得を目指す。
●授業内容・授業計画
Richard Schechner: *Performance Studies.An Introduction* を参考文献として使用し、その他の performance に関する議論をあわせて紹介していく。さらに受講生各自の研究テーマに関連する諸問題についても講じる。
●評価方法
出席、発表、レポートを総合的に評価する。
●受講生へのコメント

自己の関心領域との関連で、授業テーマに関する事例を考えてきてほしい。授業中の討論への積極的参加が望まれる。

●参考文献・教材

Richard Schechner: *Performance Studies.An Introductio*n を参考文献として使用する。

科目番号 M3706	**授業科目名：** **表現文化学研究演習 3**	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 後木 3	英文名： Higher Studies and Seminar in Culture and Representation 3	担当教員名： 三上 雅子 教授		

●科目の主題

本授業では参加者による事例研究に基づいた発表を中心とする。

●到達目標

表現文化学研究に必要な方法論を確認するとともに、学会発表や論文執筆にあたって必要とされるスキルについても、学んでいく。

●授業内容・授業計画

20 世紀の諸芸術ジャンルに関して、受講生に個別発表を行ってもらう。

●評価方法

出席、発表、レポートを総合的に評価する。

●受講生へのコメント

討論における積極的参加が望まれる。

●参考文献・教材

授業中に適宜指示する。.

科目番号 M3707	**授業科目名：** **表現文化学研究Ⅳ**	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 後水 4	英文名： Higher Studies in Culture and Representation Ⅳ	担当教員名： 海老根 剛 准教授		

●科目の主題

代表的なテクストの購読を通して映像文化研究の新しい動向を概観する。

●到達目標

映像文化研究の最近の動向を知り、みずからの研究に活かしていく。

●授業内容・授業計画

テーマごとに英語文献と日本語文献を読んで行く。必要に応じて作品の観賞も行う。

●評価方法

発表とレポートによって評価する。

●受講生へのコメント

専攻、専門分野を問わず、映像文化研究に関心のある学生の受講を歓迎します。

●参考文献・教材

プリントを使用。

科目番号 M3708	**授業科目名：** **表現文化学研究演習 4**	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 後集中	英文名： Higher Studies and Seminar in Culture and Representation 4	担当教員名： 海老根 剛 准教授		

●科目の主題

映像文化に関する理論的著作を参照したうえで、映像作品の詳細な分析を共同で行う。

●到達目標
様々な映像表現に対応できる柔軟な分析能力を養う。
●授業内容・授業計画
基本的な理論的テクストの購読と作品分析を交互に行う。なるべく多様な作品を扱いたい。
●評価方法
発表とレポートによる。
●受講生へのコメント
この授業は不定期開講（ブロック開講）になります。最初の授業日に日程調整を行うので、受講希望者は必ず出席してください。
●参考文献・教材
プリント配布。

科目番号 M3709	授業科目名： 表現文化学研究Ⅴ	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 後火 2	英文名： Higher Studies in Culture and Representation Ⅴ	担当教員名： 高島 葉子 准教授		

●科目の主題
北アメリカの神話伝説。
●到達目標
北米のネイティブ・アメリカンのなかで、特に北方狩猟民に伝わる神話、伝説についての文献を講読し、その世界観を学ぶ。
●授業内容・授業計画
英語文献と日本語文献をとりまぜて読んで行く予定。適宜、写真などの視覚資料も参照する。
●評価方法
平常点 50%、レポート 50%で評価する。
●受講生へのコメント
日本やヨーロッパの文化とは異なった世界観を学ぶことを通して、視野を広げる機会としてほしい。
●参考文献・教材
プリントを配布する。

科目番号 M3712	授業科目名： 表現文化学特殊研究	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 前集中	英文名：	担当教員名： 橋本 一径 非常勤講師		

●科目の主題
西洋近現代美術（主に 20 世紀美術）の諸相を、年代順に追うのではなく、鍵となる概念（抽象、コラージュ、綜合芸術作品、偶然、複製とアウラ…）を通して浮かび上がらせます。
●到達目標
西洋近現代美術の基礎的な概念と批評言語をおさえ、その歴史的文脈（コンテクスト）を理解します。
●授業内容・授業計画
基本的には、西洋近現代美術についてテーマ別に論じますが、本学で西洋近現代美術の通史の講義を受ける機会がないことを考慮して、最初に簡単に通史を概観する準備段階を設けます。
●評価方法
授業中に扱った内容から興味のあるテーマを選び、必ず具体的な作品分析を踏まえたレポートを提出すること。註・参考文献を明記し、インターネットのサイトからの文章のダウンロードは不可。図版・キャプションも付けること。レポート（80%）および出席点（20%）。
●受講生へのコメント
講義は、講師が作成したプリントを基に、パワーポイントで提示する作品の画像に解説を加えながら進めます。講義中に見せた画像をプリントアウトしたものは配布しないので注意すること。
高階秀爾監修『カラー版　西洋美術史』の該当する部分や、高階秀爾『近代絵画史（上・下）』（特に下巻）をあらかじめ読んで、通史の大まかな流れを理解しておくと、テーマ別の講義を一層理解しやすくなります。講義の後、受講者が各自興味を持ったテーマについて、指示された参考文献等を読んで調べることが望ましいです。
なお、集中講義は 9 月末開講予定です。

●参考文献・教材

参考文献 『世界美術大全集　西洋編』小学館、1992～1997 年。

E. H. ゴンブリッチ『美術の物語』ファイドン、2007 年。

高階秀爾監修『カラー版　西洋美術史』美術出版社、2002 年。

高階秀爾『近代絵画史（上・下）』中公新書、1975 年。

天野知香『装飾／芸術―19-20 世紀のフランスにおける「芸術」の位相』ブリュッケ、2001 年。

河本真理『切断の時代―20 世紀におけるコラージュの美学と歴史』ブリュッケ、2007 年。

河本真理『葛藤する形態―第一次世界大戦と美術』人文書院、2011 年 3 月刊行予定。

詳しい参考文献は、授業中に適宜指示します。

科目番号 M3713	授業科目名： 表現文化学総合研究Ⅰ	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 前金 2	英文名：	担当教員名： 三上 雅子 教授 小田中 章浩 教授 野末 紀之 教授		

●科目の主題

表現文化学という新しい領域横断的な学問の成立の過程と、研究の前提となる知識（文化理論等）について総合的な知識を習得させる。また研究にあたって必要とされる方法論についても確認・習熟させる。受講生に研究発表を行わせ、それに基づき討議をすることによって、プレゼンテーション技術をも学習させる。

●到達目標

表現文化学研究にあたって必要とさせる知見・学問的方法論を習得させる。

●授業内容・授業計画

表現文化学を研究するにあたって必要とされる文献を扱い、研究の前提となる文化理論等に関する知識を習得させる。受講生は得た知見に基づいて、研究対象・研究方法等について、討論・報告する。

●評価方法

授業中の発表等によって評価する。

●受講生へのコメント

授業参加に際しては、自己の研究領域のみではなく、表現文化学研究全般における基本的概念等についても習得・確認することを常に意識すること。

●参考文献・教材

授業中に指示する。

科目番号 M3714	授業科目名： 表現文化学総合研究Ⅱ	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 後金 2	英文名：	担当教員名： 三上 雅子 教授 小田中 章浩 教授 野末 紀之 教授		

●科目の主題

表現文化学という新しい領域横断的な学問の成立の過程と、研究の前提となる知識（文化理論等）について総合的な知識を習得させる。また研究にあたって必要とされる方法論についても確認・習熟させる。受講生に研究発表を行わせ、それに基づき討議をすることによって、プレゼンテーション技術をも学習させる。

●到達目標

総合研究Ⅰで習得した知見・スキルの基礎の上に立って、さらに修士論文執筆に向けて総合的知見を獲得させる。

●授業内容・授業計画

受講生の研究分野にかかわる具体的なテーマを取り上げて講じる。受講生は、修士論文で取り組むテーマを絞り込み、研究の方向について報告する。

●評価方法

授業中の発表等によって評価する。

●受講生へのコメント

修士論文のテーマについて、教員と相談しつつ準備を重ね、授業での発表にのぞむこと。

●参考文献・教材

授業中に指示する。

科目番号 M3715	授業科目名： 表現文化学研究指導Ⅰ	旧科目名：	単位数 2 単位	
開講期 前金 3	英文名：	担当教員名： 三上 雅子 教授 小田中 章浩 教授 野末 紀之 教授		

●科目の主題

表現文化学の修士論文作成の指導を行う。

●到達目標

修士論文作成に必要な知見・方法論等に習熟させる。

●授業内容・授業計画

研究テーマの選択ならびに論文執筆に関して必要な先行研究・関連文献の指示等を行い、さらに論文の構成や論旨の展開についても具体的に助言・指導を行う。

(三上雅子教授)現代演劇ならびに映画等を対象とし、そこに現れた様々な問題を種々の文化理論・芸術理論に立脚して研究することを指導する。

(小田中章浩教授)フランス演劇あるいは西洋演劇史に関する研究等を対象ろとし、論文作成、学会発表に必要な指導を行う。

(野末紀之教授)19 世紀以後のイギリスを中心とする言語表現および身体表象、身体を重要な契機とする現代日本の言語文化を対象とし、それらにかんする論文作成、発表、研究について指導を行なう。

●評価方法

授業での発表等で評価。

●受講生へのコメント

修士論文作成にあたっては、指導教員と相談しつつ綿密な計画を立ててのぞむこと。

●参考文献・教材

授業中に指示する。